

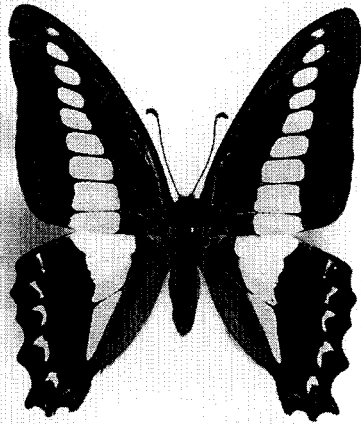
観察記録ノート

昆虫類

長野県豊丘村における アオスジアゲハの越冬記録

井原 道夫

筆者は長野県南部の豊丘村で、アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* (Fruhstorfer, 1903) が発生していたことを発表した(井原2001)。その後の調査で本種が同地で越冬したのを確認することができたので報告する。



1 蛹確認, 豊丘村河野, 15. IV. 2001.

越冬が確認されたのは、2000年8~9月に成虫の発生を確認した毛涯章平氏宅である。食樹であるクスノキから少しはなれた場所の、長屋の軒下に掛けてあった鎌の柄で蛹化していた。蛹化地点の地上高は約150cmであった。この蛹は5月12日に♀個体が羽化した。これは長野県における最北の越冬記録である。

情報と標本を提供して下さった毛涯章平氏に厚く御礼申し上げます。また、前号の報告(井原, 2001)の中で、引用文献の発表年に誤りがあったので以下のように訂正します。

井原道夫・白鳥一樹, 1973, → 井原道夫・白鳥一樹, 1972,

引用文献

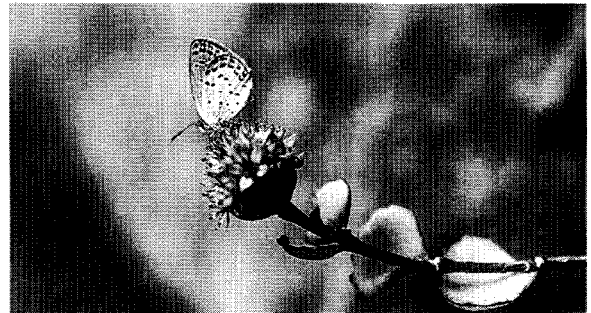
井原道夫, 2001, 長野県南部のアオスジアゲハ, 伊那谷自然史論集, 2, 55-58.

(いはら みちお/〒395-0004 飯田市上郷黒田571)

長野県天龍村における クロツバメシジミの冬季の活動記録

井原 道夫

クロツバメシジミ *Tongeia fischeri* (Eversmann, 1843) は、これまで長野県内において冬季の観察記録はなかった。2001年になって天龍村で12月に成虫の活動を観察したので報告する。



7exs. 目撃 (2exs. 採集)・1 蛹確認, 天龍村, 29. XI. 2001.

8exs. 目撃 (2exs. 採集)・2 蛹確認, 天龍村, 2. XII. 2001.

1♂1♀・1 蛹確認, 天龍村, 11. XII. 2001.

1ex, 天龍村, 18. XII. 2001.

11月29日の成虫確認数より12月2日の成虫確認数の方が多かった。12月2日に確認した蛹は、12月11日の調査では羽化殻となっていた。また12月11日に確認した蛹は、18日の調査では羽化殻となっていた。このことから天龍村においては、2001年には12月になっても羽化が行われたことが明らかになった。また、12月11日は交尾個体も観察した。

成虫の活動が見られた環境は、日当たりが良く、風当たりの少ない場所であった。蛹化場所が日当たりのよい石垣であったことも冬季に羽化が続いた一因と考えられる。

(いはら みちお/〒395-0004 飯田市上郷黒田571)